

「家族の絆 ～生まれてきてくれてありがとう～」

元フリーアナウンサー 道志 真弓さん

10月20日(火)

「野生児が カメラマンと呼ばれるまで」

主婦・チーム祐二実行委員会代表 米田 千鶴さん

10月23日(金)

2015年度 講座

生きること

～一人称で語る自分史～



「戦後70年、今振り返る戦争と障害児たちの日々」

今西 美奈子さん

10月26日(月)

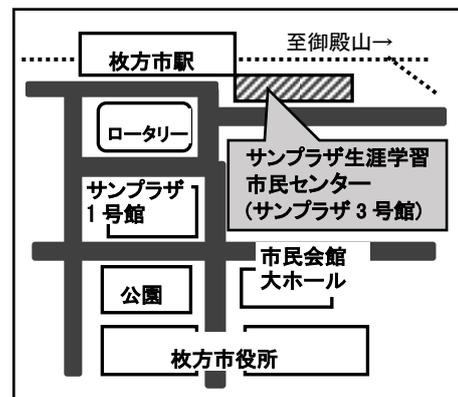
「～大切なあなたへ～ 伝えたいこと」

元秋田県動物管理センター所長・さかもと動物病院院長

坂本 尚志さん

10月28日(水)

- 会場 サンプラザ生涯学習市民センター 視聴覚室(サンプラザ 3号館 5階)
- 時間 各講座 午後2時～4時
- 定員 各講座80人
- 参加費 無料 ※1講座のみの参加もできます
- 参加申込 10月1日から枚方人権まちづくり協会で直接または電話・FAXで参加受付
- 保育 各講座の一週間前までに申し込んでください(各講座先着6人 1歳以上から就学前児)
- 手話・要約筆記 各講座の一週間前までに申し込んでください
- 申込・問合せ先 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会



電話072-844-8788 FAX072-844-8799

主催 枚方市、枚方市教育委員会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

2015年度

講座 「生きる」と「

一人称で語る自分史」

講師からのメッセージ



第1回 (10月20日)

「家族の絆 ～生まれてきてくれてありがとう～」

元フリーアナウンサー 道志 真弓さん

不妊治療の末、やっと授かった娘は世界で数十例しかない病気と診断され、8歳で他界。歩くことも話すことも出来ませんでした。娘を囲んでの生活は笑顔が絶えない日々でした。娘が私たち家族に教えてくれたこと、そして命の大切さ、家族であること、生きるということ等、講演を通して皆さまと共に考えていけたらと思っています。

第2回 (10月23日)

「野生児が カメラマンと呼ばれるまで」

主婦・チーム祐二実行委員会代表 米田 千鶴さん

自閉症と知的障害を合わせ持つ、会話というコミュニケーションが通じない我が子を相手に、手の抜けられない子育てを経験し、親として得た思いや経験した『艱難辛苦』とともに、我が子が会話として思いを伝えようと選んだ「写真日記」を理解し、その展示活動を応援する中で、親子の繋がりがより深まった我が子との成長の歩みをお話します。

第3回 (10月26日)

「戦後70年、今振り返る戦争と障害児たちの日々」

今西 美奈子さん

戦後70年、学童疎開促進要綱制定から71年になります。都会の児童を集団で田舎へ疎開させ、その命を守ることなどを目的に制定されましたが、私が通っていた光明養護学校は放置されました。「国の役に立たない障害児の命を守る必要なし」というのがその理由でした。

人が人としての心を失わず、すべての命が重んじられる平和が続くことを祈ります。

第4回 (10月28日)

「～大切なあなたへ～ 伝えたいこと」

元秋田県動物管理センター所長・さかもと動物病院院長

坂本 尚志さん

動物管理センターでは、飼い主に見捨てられた多くの犬や猫が『処分』されています。このつらい実態を伝え、動物の命だけでなく、自分自身の命の尊さにも目を向けてほしいと県内の学校を訪問し『命の教室』を始めました。事故で片足を失い、死を選ぼうとした過去の経験談も交え、命の大切さを訴えます。

『あなたにとって一番大切な人は誰ですか?』その答えを見つめてみましょう。